Kyushu

International

University

学校法人九州国際大学

第三期中期経営計画

2019 年度～2023 年度
【5 カ年計画】

Plan-Do-Check-Action

九州国際大学
九州国際大学付属高等学校
九州国際大学付属中学校

学校法人九州国際大学　第三期中期経営計画（2019 年度～2023 年度）

＜学校法人九州国際大学の経営理念＞

建学の精神である「塾的精神」を現代的に解釈すると共に、
生徒、学生ならびに教職員の成長を支援することを持って、
地域における教育・研究機関として継続性を高めることを目指します。

1．第三期中期経営計画立案の骨子

本学園で働く教職員全員が本学園の新しい教育・経営ビジョンの実現を目指して、実践活動を行うための指針として「学校法人九州国際大学第三期中期経営計画」（2019 年度～2023 年度の 5 カ年間）を策定しました。
第三期中期経営計画は、「九州国際大学中期計画」、「九州国際大学付属高等学校ライフデザインプログラム」、「九州国際大学付属中学校教育改革プラン」を中核に据え、各学校での自己点検・自己評価等による課題の認識やその解決や展望を踏まえたものです。

2019 年 4 月 1 日

学校法人九州国際大学

理事長　柴田高博

2019 ～ 2023

◆持続発展可能な経営基盤の確立

本学園の「持続発展可能な経営基盤の確立」のために、中期経営計画のテーマである「募集力の維持・強化」と「管理体制・財務基盤の強化」に取り組みます。

◆建学の精神・教育理念の浸透・徹底

建学の精神・教育理念の現代的解釈に基づき、総合学園としての「教育の特色」、「育てたい人材像」、「教育ブランド」の関係性を整理し、浸透・徹底を図ります。

2014 ～ 2018

◆地域との共生

地域密着型の総合学園として、募集面だけではなく、本学園としての特色を活かし、地域をフィールドとした調査・研究・学習により連携を深め、地域に必要とされる学園となることを目指します。

◆教育改革による学園教育ブランドの確立

現場の教育実践が学園教育ブランドとして発信力を持つよう、九国らしい「塾的精神」を通じた教育改革を推進します。

◆総合学園としての教育ビジョンの明確化

「総合学園という学園全体の統一イメージ」の発信に対し、大学、付属高等学校、付属中学校の伝統的な「体験型教育」、「基礎教育」、「人間教育」を学園全体として捉え直し、進化させ、新たな教育ニーズにも応える九国版「アクティブラーニング」の実践に取り組み、総合学園としての教育ビジョンの明確化を図ります。

◆ガバナンス改革とコンプライアンスの徹底

全学的な改革を推進していくためには、理事長・学長・校長をはじめとする各部署の責任者のリーダーシップが発揮され、それによる各組織体のガバナンスが確立されていること、また、関係者全員にコンプライアンス（法令順守）意識が徹底されていることが必要不可欠です。合わせて、ディスクロージャー時代を迎え、財務情報等様々な情報を公開することにより、運営面での透明性を確保していきます。

◆キャンパス・マネジメント計画によるキャンパスの価値向上

大学キャンパスの 20 周年を目前に控え、第三期中期経営計画の一環としてファシリティ・マネジメント計画をキャンパス・マネジメント計画と称してその一歩を踏み出したいと思います。本学園の重要な経営資源である、教職員人材、活動資金、情報に加えて、土地・建物・設備・備品（ファシリティ）という「第 4 の経営資源」を総合的・戦略的に活用することによって、本学園の継続性に貢献することはもとより、修繕・保全からマネジメントへの切替えを行うと共に効率的な投資へとその仕組みを改革していきます。

2．経営目標の公表による行動目標の可視化

経営理念に基づく、後述の各戦略それぞれについて目標値を設定し、目標の可視化を実施すると共に、毎年度末に各目標の達成状況を確認していきます。
このことにより、次なる業務の行動目標を明確に定め、目標達成に向けた組織的対応を実施するよう業務の工程管理（マネジメント）を適切に実施していきます。

3．学校法人の中期経営計画

戦略Ⅰ［教育力］：地域に根ざし、地域に必要とされる教育の実践
戦略Ⅱ［研究力］：地域課題に基づく研究活動の実施
戦略Ⅲ［社会力］：教職員人材等の地域活動への参加
戦略Ⅳ［募集力］：本気で学ぶ生徒・学生の獲得を目指した定員充足率の向上
戦略Ⅴ［経営力］：経営効率化、組織活性化による財政基盤の安定と計画の実行。

戦略Ⅰ［教育力］：地域に根ざし、地域に必要とされる教育の実践

１．大学における教育の質の保証の確立
(1)学修習成果の可視化
(2)組織的・体系的な教育の実施
(3)学生を育てる教育への転換
(4)教育環境の整備
(5)教育情報の公開

２．高等学校における社会の変化を捉えニーズに応じた教育システムの確立
(1)「知・徳・体」のバランスがとれた人間教育の実践
(2)進路サポート体制の確立
(3)クラス編成改革と習熟度別授業・課外への対応
(4)進路サポート体制の組織的運用の確立

３．中学校における先進的・独創的な教育の充実
(1)建学の理念の具現化を目指す継続的な取り組み
(2)高校自由選択制の下、一人ひとりの希望進路の実現を目指す教育
(3)「Ｋ点突破」を合言葉に、生徒の能力を最大限に引き出す学習
(4)自分を自分らしく表現できる力を高める取り組み
(5)知情意を刺激し、能動性･協働性を育む体験学習･学校行事
(6)将来を見据え、現代的な諸課題に対応する先進的･独創的な教育活動
(7)ICT 環境整備に基づく授業や指導方法の改革

戦略Ⅱ［研究力］：地域課題に基づく研究活動の実施

１．教育と研究を通じて新たな社会･経済システムを提案、成果の還元
(1)地域のシンクタンクとしての機能強化
(2)地域の資源活用、産業の振興、文化の発展、雇用の創出等の研究（ブランディング化）

戦略Ⅳ［募集力］：本気で学ぶ生徒・学生の獲得を目指した定員充足率の向上

１．18 歳人口の減少を踏まえた多様な募集方法の開発
(1)厳格な定員管理
(2)付属高校を含んだ高大連携の推進
(3)ネット出願導入
(4)大学入学共通テストを活用した入試制度整備
(5)戦略的な入試広報による優秀な学生の確保

２．私立高校としての地位向上とトップランナーとしてのブランド構築
(1)付属高等学校における入学者確保
(2)付属高等学校の改革

３．中学校における意欲に溢れ向上心の高い入学者の安定的な確保
(1)高校合格実績、校外模試の成績向上
(2)学校教育活動の積極的な発信
(3)意欲溢れる生徒の確保を目指す募集活動・入学者の選抜

戦略Ⅲ［社会力］：教職員人材等の地域活動への参加

１．産学官連携による地域への貢献
(1)インターンシップ、社会体験活動の拡大
(2)地域が求める人材の養成

２．高等学校の生徒・保護者の声をフィードバックするための自己点検制度
(1)付属高等学校の学校評価の実施
(2)付属中学校の学校評価の実施

戦略Ⅴ［経営力］：経営効率化、組織活性化による財政基盤の安定と計画の実行

１．時代や環境変化に対応した学校法人経営の実践
(1)将来に向けた永続的な発展

２．学校法人経営の効率化
(1)理事会と設置する学校等との関係
(2)評価に対応した教学組織の改革
(3)学内運営の改善、委員会の整理統合
(4)学園内連携の推進
(5)中期経営計画による教職員配置・事務組織再編
(6)財政規律の確立と適切な予算編成

３．人事制度改革
(1)働き方改革への取組み
(2)教育研究機能の更なる充実
(3)事務組織改革

４．キャンパス・マネジメント
(1)キャンパス・マネジメント計画の方針
(2)修繕から保全への具体的対応と実行期限
(3)積極的設備投資への方針策定

５．教学マネジメント機能の強化を踏まえたガバナンスの確立
(1)自己点検・評価の推進
(2)効率的な大学運営
(3)大学規模に則したリニューアル計画

戦略Ⅰ［教育力］	大　学	教育の質の保証の確立
	高等学校	社会の変化を捉えニーズに応じた教育システムの確立
	中学校	先進的・独創的な教育の充実
戦略Ⅱ［研究力］	大　学	教育と研究を通じて新たな社会･経済システムを提案、成果の還元
戦略Ⅲ［社会力］	大　学	産官学連携による地域への貢献
	高等学校	生徒・保護者の声をフィードバックするための自己点検制度
	中学校	保護者・地域社会の期待に応える授業改革の実践
戦略Ⅳ［募集力］	大　学	18 歳人口の減少を踏まえた多様な募集方法の開発
	高等学校	私立高校としての地位向上とトップランナーとしてのブランド構築
	中学校	意欲に溢れ向上心の高い入学者の安定的な確保
戦略Ⅴ［経営力］	法　人	時代や環境変化に対応した学校法人経営の実践と活力ある組織創造
	大　学	教学マネジメント機能の強化を踏まえたガバナンスの確立
	高等学校	
	中学校	

学校法人九州国際大学

第三期中期経営計画

（2019 年度～2023 年度）

編集：学校法人九州国際大学
法人事務局 総務企画部 法人経営企画室
〒８０５－８５１３
北九州市八幡東区平野二丁目５番１号
Tel 093-671-9034　　Fax 093-671-9032

禁無断転用・転写